



マッジョーレ湖畔に広がるストレーザの町並み [(C)Distretto Turistico dei Laghi-Stresa(VB), Photo by:Andrea Lazzarini Editore]



マッジョーレ湖を一望できるストレーザのロープウェイ。リフトを乗り継いで辿り着くモッタローネ山頂からは360度のパノラマを楽しめる [(C)Distretto Turistico dei Laghi-Stresa(VB), Photo by:Andrea Lazzarini Editore]



島全体が宮殿と庭園になっているイゾラ・ベッラ
[Copyright:De Agostini Picture Library]



『武器よさらば』の舞台となり、ヘミングウェイ自身も滞在したグランド・ホテル・デイル・ポロメ
[Copyright:De Agostini Picture Library]

必見はマッジョーレ湖に浮かぶ宮殿の島 欧州の文人たちにも愛された風光明媚な避暑地

日本では、ローマやミラノ、ベネツィア、フィレンツェ、ナポリほどの知名度はないものの、スタンダールやゲーテ、ヘッセ、バイロンといった欧州の文人に愛された風光明媚なリゾート・マッジョーレ湖。観光の拠点となる町・ストレーザは、リピーター需要に応える貴重な存在として注目される。

ミラノと変わらぬアクセスの良さ

ミラノの名家・ポロメオ家が周辺一帯を所有するマッジョーレ湖は、ピオモンテ州の北東部に位置し、南北65キロ、最大4:5キロの幅があり、湖畔にはストレーザをはじめとする国際的な保養地が点在する。

湖の中央部がロンバルディア州との境界で、北部にはスイスとの国境も横たわり、イタリア・アルプスの峰々が湖畔に映える。米国の文豪、ヘミングウェイは、この湖水に浮かぶ国境線を舞台に、『武器よさらば』のクライマックスシーンを描いた。

ピオモンテ州の州都は、荒川静香さんが金メダルを獲得した冬期五輪の開催地として記憶に新しいトリノだが、ロンバルディア州の州都・ミラノからストレーザへは北西に65キロという至近距離にある。

ミラノのマルペンサ国際空港は、ミラノとストレーザのほぼ中間に位置しているた

め、日本からのアクセス利便性はミラノとほとんど変わらない。

『武器よさらば』に登場するホテルも

ストレーザ沖には、所有するポロメオ家に因んでポロメオ諸島と呼ばれる3つの島が浮かぶ。そのうちの1つであるイゾラ・ベッラ(美しき島)は、島全体が宮殿と庭園となっている。ナポレオンも滞在したという宮殿の内部には、ロココ時代の天井画などが描かれ、バロック庭園には四季折々に花々が咲き乱れて、さながら地上の楽園という趣に溢れている。ストレーザからポロメオ諸島をめぐる遊覧船も出ているが、3つの島を堪能して昼食を楽しむためには、半日以上を費やしたい。

マッジョーレ湖畔に建つグランド・ホテル・デイル・ポロメは、ヘミングウェイの『武器よさらば』で、主人公のアメリカ人義勇兵ヘンリー中尉が、ミラノからスイスへの逃避行の途中に立ち寄るホテルとして物語に登場した。ヘミングウェイ自身も滞在したホテルには、実際に泊まった部屋が「ヘミングウェイスイート」として残っている。現在も客室の一部として使われており、映画にもなった作品のファンには必見のホテルだ。